

Q 原子力災害時の広域避難計画って何ですか?



A 浜岡原子力発電所で原子力災害が発生した場合に備えて、発電所周辺の住民の皆様の避難先や避難手段などを定めた計画のことです。

県が策定した広域避難計画に基づき、発電所周辺の11市町がそれぞれ広域避難計画を策定しました。

広域避難計画では、避難が必要になった場合の避難先を、まずは静岡県内の市町や関東甲信地方・東海地方の県(避難先(1))としています。

大規模地震との複合災害などで避難先(1)に避難できない場合は、関東甲信地方や北陸地方の都県(避難先(2))が避難先になります。

お住まいの地域の広域避難計画の詳しい情報については、県・各市町ホームページなどにより確認することができます。



【図 広域避難のイメージ】

浜岡原子力発電所の運転状況

前ページまでの環境放射能の測定を行った期間中(令和4年10月~12月)、浜岡原子力発電所の1号機及び2号機は廃止措置中であり、3号機、4号機及び5号機は運転停止中でした。

なお、令和5年3月16日現在、3号機、4号機及び5号機については定期事業者検査及び地震・津波・重大事故対策等を実施しています。

「原子力だより」の内容についてご質問等がありましたら、下記までお寄せください。

静岡県原子力発電所環境安全協議会事務局
静岡県危機管理部原子力安全対策課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL.054(221)2088 FAX.054(221)3685

E-mail antai@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページアドレス: <http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/kakushitsu/antai.html>

静岡県環境放射線監視センター

〒421-0411 牧之原市坂口3520-17 TEL.0548(29)1111 FAX.0548(29)0335

ホームページアドレス: <http://www.hoshasen.pref.shizuoka.jp>

原子力だより No. 196



避難退域時検査場所運営訓練(住民検査)



避難退域時検査場所運営訓練(車両検査)



原子力災害合同対策協議会訓練



避難経路所運営訓練

県と関係11市町等は、1月下旬から2月上旬に、浜岡原子力発電所における原子力災害を想定した原子力防災訓練を実施しました。住民避難訓練、避難退域時検査場所や避難経路所の運営訓練等に、発電所周辺の住民の方々約370名をはじめ、多くの方々に参加いただきました。

令和4年10月~12月の環境放射能の調査結果

静岡県原子力発電所環境安全協議会では、浜岡原子力発電所の周辺環境の安全を守るために行っている環境放射能調査の結果を、四半期ごとに取りまとめ、「原子力だより」でお知らせしています。

令和4年10月から12月の調査結果では、浜岡原子力発電所からの環境への影響は認められませんでした。

今回の調査結果では、東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故等による人工放射性物質の影響が見られましたが、健康への影響は心配ないレベルでした。

(詳細は次ページ)

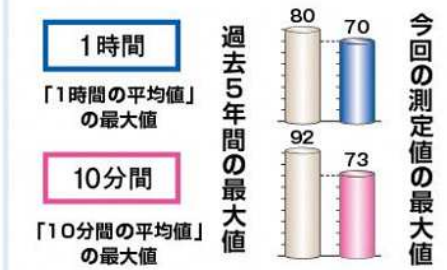
令和4年10月～12月の 浜岡原子力発電所周辺の環境放射能調査結果

空間の放射線の測定（1時間平均値 および10分間平均値の最大値）

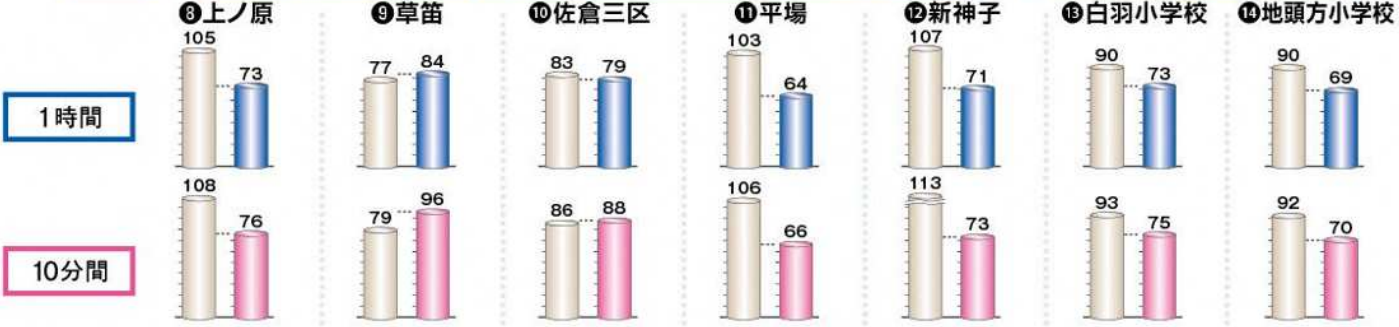
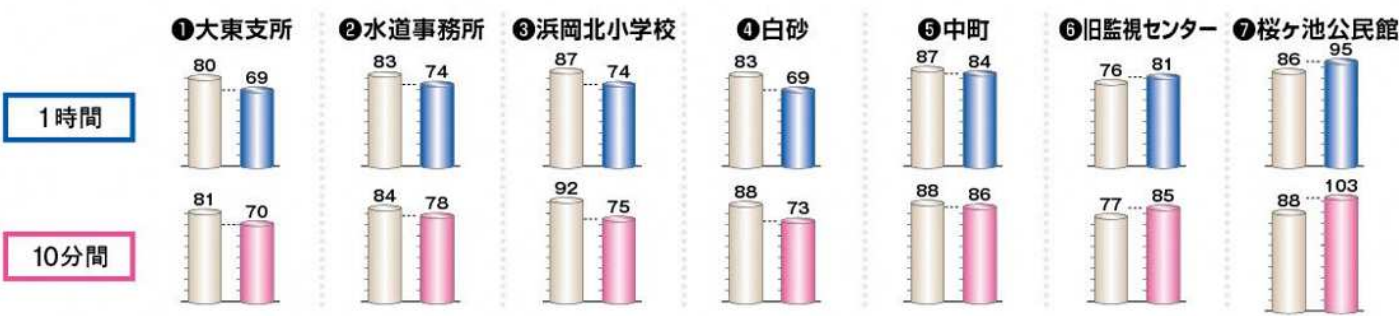
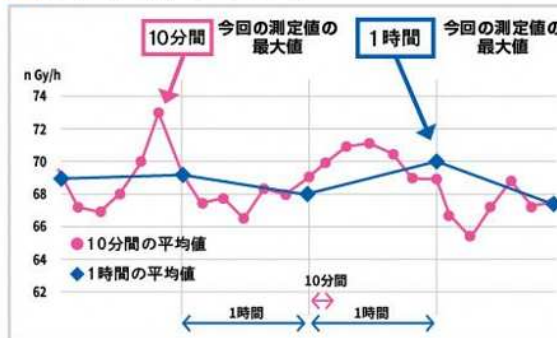
モニタリングステーション（14か所）において、常時、空間放射線の量を測定しています。そのうち4か所で10月に過去5年間の最大値を上回ったときがありました。原因は、降雨により大気中の自然放射性物質が地表に降下・沈着することで放射線の量が一時的に上昇したと考えられます。測定された値は、東電事故等の影響は認められず、自然放射線由来のものです。

グラフの見方

単位:ナノグレイ/時



グラフの値について



測定結果から、自然放射線による外部被ばく線量は、年約0.29mSvと推定されます。（日本平均約0.33mSv、世界平均約0.48mSv※）

※新版 生活環境放射線（国民線量の算定）平成23年12月（原子力安全研究協会）から引用

農産物などの放射能の測定

浮遊塵や農水産物などについて、放射能を測定しました。令和4年10月から12月の間に測定した試料の一部※は、過去（震災前）5年間の最大値を上回りましたが、いずれも国の基準*等を大きく下回るものでした。検出された放射能は、過去の核爆発実験などの影響によるものや、東京電力 福島第一原子力発電所の事故の影響によるものと推定しました。

※測定した13試料41検体のうち、1試料1検体（みかん1検体）

*食品衛生法に基づく基準値(参考欄参照)

代表的な試料の放射性セシウム137の測定値の最大値



参考 食品衛生法に基づく食品の放射性セシウム137の基準値	
食品群	基準値 (Bq/kg)
飲料水	10
牛乳	50
一般食品	100

代表的な試料の放射性ストロンチウム90の測定値の最大値



放射能調査に用いる単位

■グレイ(Gy).....	放射線のエネルギーが物質に吸収された量(吸収線量)の単位	〔参考〕ミリ(m).....	1/1,000	千分の1
■シーベルト(Sv).....	吸収線量を基に人体への影響を考慮して算定した線量の単位	マイクロ(μ).....	1/1,000,000	百万分の1
■ベクレル(Bq).....	放射能の強さを表す単位	ナノ(n).....	1/1,000,000,000	10億分の1